

山野美容専門学校 学校関係者評価報告書

学校法人山野学苑
山野美容専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人山野学苑山野美容専門学校における令和4年度の自己点検評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施いたしましたので、以下の通り報告いたします。

開催日時：2023年12月11日（月）10：00～12：00

開催場所：本学9F会議室

出席者

・学校関係者評価委員

小野田光伸 山野美容専門学校後援会会長

新藤和久 株式会社田谷 執行役員人事総務本部長

米山実 株式会社アッシュ 代表取締役副社長

佐竹秀規 卒業生（40期生・kakimoto arms 総務部長）

千葉龍太郎 日本ロレアル株式会社 ブランドエクスペリエンスマネージャー

・山野学苑教職員

山野愛子ジェーン 理事長

小川立行 副校長

橋しのぶ 副校長

横川岳春 教頭

佐藤美香 教頭

新井敬朗 主任

今井秀樹 事務局長

戸谷幸之 広報部長

高谷丘人 キャリアサポートセンター室長

佐川普子 教務学生課長

二森晃 総務課長補佐

土屋信介 職業実践専門課程担当

実施方法：令和4年度の自己点検評価報告書を基に、各基準項目ごとに説明と取り組みを聞き、評価を行った。

【理事長挨拶】

本日はお忙しい中、本学学校関係者評価委員会にご出席いただきありがとうございます。山野美容専門学校では在校生、卒業生のために何ができるかを前向き、建設的に考えてまいります。

更なる改善のため、皆様のご意見ご指導を頂ければ幸いに存じます。宜しくお願い致します。

1. 教育理念・目的・育成人材等

＜小野田先生＞

特に問題なし

学生便覧→学生に向けては難しいのではないか。

サポート等も記載したらどうか。

＜今井事務局長＞

サポートに関しては入学前に募集要項に記載している。

学生心得が最も重要

ただし、重要視している箇所は知らせていくべき。

＜土屋先生＞

入学後はオリエンテーションをして、理解させている。

＜佐竹先生＞

きちんとなぜダメなのか等を説明して理解させるべき。

＜理事長＞

タトゥーやピアスはどうしていますか。

＜米山先生＞

入社前説明会できちんと説明している。

＜理事長＞

来年度は記載事項を検討するべき

オリエンテーションは1ヶ月かけて、2年生と一緒に説明する。

＜土屋先生＞

タトゥーは入社試験の時に問題ありますか。

<佐竹先生>

多少問題視します。場所（見えない箇所）や柄にもよりますが。

<橋副校長>

国家試験は現在タトゥーについては減点ではなくなった。

実習は国家試験に基づいて授業運営している。

<今井事務局長>

ただし、就職に不利になることは学生に周知しなくてはならない。

2. 学校運営

<米山先生>

今年より本社でもタッチオンタイムを導入した。

無駄な残業や働き方をチェックしている。

<理事長>

休憩時間もきちんと取らないといけない。

美容師はなかなか1時間休憩をとれないと聞いている。

ワークバランスを考えなければならない。

<新藤先生>

システムを導入し効率化したことにより時間の使い方を検討するべき

とても良い動きだと思う。

3. 教育活動

<橋副校長>

学生にアンケートはとるが、新カリキュラムでは外部講師に半分くらい来ていただき

4つのカリキュラムに選択していただく。

現場の技術を習得する。

現在国家試験未受験者も増えてきて、みんなが美容師になるわけではない。

<新藤先生>

現場ではコミュニケーション能力が問われる。

<横川教頭>

新カリキュラムではキャリア授業を行う。

2年間で卒業時に目標を明確化するようなプログラムを組んでいる。

<千葉先生>

ロリアルではフィードバックを必ず行っている。

同じことをしていても次に繋がらない。

<佐竹先生>

シャンプーの授業、人の髪に触る、人にメイクする等を学校の2年間でもっと勉強してきてほしい。

<小野田先生>

テクニック等は優れているが、お客様（人）に対しての技術は大事な基本。

4. 学習成果

<小野田先生>

国家試験は重要だがそれ以外の授業も大事。

国家試験授業以外の授業ももっと重要なのでは。

<理事長>

以前国家試験のレベルをクリアしている学生にご褒美授業をしたが、

そういった学生ほど国家試験に対する授業を受けたがる。

どうやって学生を安心させられるかが問題。

国家試験を2年次夏に受けさせ、そのあとはインターンシップを行わせたい。

せっかく1年生でいろいろな勉強をしても、2年次は国家試験の勉強のみになってしまう。国家試験の時期と内容は検討しなくてはならない。

本校の学生にはイベント、課外活動をたくさん行わせている。いっぱいチャンスを与えている。

<千葉先生>

イベントを行うことで退学率低下につながっていると思う。

今までにない経験をたくさん経験し、飽きさせない。

5. 学生支援

<佐竹先生>

カウンセラーはどれくらい学生が利用していますか。

<二森補佐>

週1回カウンセラーが出勤している。あまり多くの学生は利用していないが、保健室と連動し学生をサポートしている。

<小野田先生>

カウンセラーに直接ではなく、ダイヤル等作ってみては。

<理事長>

日本のカウンセリングは薬をたくさん出すだけ。それでは良くない。

<千葉先生>

ロレアルでも美容師のカウンセリングを行っている。来年は日本にも導入予定。美容師はお客様から話を受ける事により、心を病んでしまう方もいる。

6. 教育環境

<小野田先生>

動画を流す

山野の学生はグローバルな接客が出来るまでにして欲しい。

山野こそそれに適している。

7. 学生の受け入れ募集

<スタン理事長補佐>

何か学生を集めるためにこれをしたほうが良いというアドバイスがあればいただきたい。

<小野田先生>

インターネットは当たり前だが、やはり一番は口コミ。

在學生に山野を勧められる部分を具体的に聞く。生徒目線の意見が聞ける。

<新藤先生>

卒業生がたくさんいるので、その方に紹介していただければ。

<理事長>

OB会を作成していかなければならない。

<米山先生>

地道ですが、高校の教員に新入生の方がアッシュに入社し、がんばっていることを報告

